

第七十六回 帝國議院  
衆議院

朝鮮事業公債法中改正法律案委員會議錄(速記)第五回

(二七三)

付託議案  
朝鮮事業公債法中改正法律案  
(政府提出)  
買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案  
(政府提出)

會議

昭和十年三月十四日(木曜日)午後一時五十

分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 松山常次郎君

理事森田 福市君 理事豊田 豊吉君

實岡半之助君 吉田 鞠明君

栗原彥三郎君

三月十二日南朝鮮鐵道株式會社所屬鐵道買

收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)  
ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

拓務大臣伯爵 兒玉 秀雄君

出席政府委員左ノ如シ

拓務政務次官 櫻井兵五郎君

朝鮮總督府政務總監 今井田清德君

朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 中島彌團次君

朝鮮總督府鐵道局長 吉田 浩君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出)

○松山委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、質問ノ續キガ少シアリマス、通告ガアリマス  
ルカラ——森田君

○森田委員 私ガ問フヨリモ、一應御答ガ  
アツカカラノ方ガ宜イト思ヒマス、一番最初  
ノ日ニ質問シタ條項ニ對シテ御答願フテ、ソ  
レカラ私ノ質問ヲ致シタイト思ヒマス

○林政府委員 先般森田サンカラ御尋ノア  
リマシタ朝鮮ノ江原道ノ平康ノ出張所ニ於  
キマスル事件ニ付テ御答申上ゲマス、平康  
出張所ニ於キマシテ、御話ノヤウナ不正事  
件ノ起リマシタコトハ事實デアリマスガ、  
リマシテ、今はガ内容並ニ善後措置等ニ付  
キマシテ、茲ニ申上ゲ兼ネルノデアリマス、  
思ヒマス

○森田委員 今ノ政府委員ノ御答ハ一應諒  
承シタノデアリマスガ、其事件ハ豫審中デ  
アルカラ云々ト云フ問題ハ、刑罪問題ダラ  
ウト思ヒマス、是ハ行政上ノ事デアツテ、モ  
ニ損害ヲ加ヘマシタ場合ニ於ケル責任ノ問  
題デアツテ、此登記ガ本當ノモノデナカッタ  
此損害ヲ加ヘマシタ場合ニ於ケル責任ノ問

題ニ付キマシテハ、其行爲ガ私法上ノ行爲  
デアリマスレバ、民法ノ不法行爲ノ規定ニ  
依リマシテ、損害賠償ノ義務ヲ負フコトノ  
ス、公法行爲デアリマスル場合ハ、特別ノ

規定ノナイ限り賠償ノ義務ノナイトスルコ  
トガ、從來ノ通説デモアリ、又慣例ノヤウデ  
モアリマス、而シテ登記關係ニ於キマシテ  
ハ、御承知ノ通り不動産登記法ノ第十三條  
ニ於キマシテ、特別ノ規定ヲ設ケテ居リマ  
スノデ、登記ニ關シマシテ第三者ニ損害ヲ  
加ヘマシタ場合ニ於テハ、登記官吏ガ個人

トシテ民事上ノ賠償責任ヲ負フベキモノデ  
アラウト考ヘルノデアリマシテ、國家トシ  
テハ別ニ責任ヲ負フベキモノデハナイヤウ  
ニ考ヘテ居ルノデアリマス、以上ヲ以テ御  
答ト致シマス

○森田委員 今ノ政府委員ノ御答ハ一應諒  
承シタノデアリマスガ、其事件ハ豫審中デ  
アルカラ云々ト云フ問題ハ、刑罪問題ダラ  
ウト思ヒマス、是ハ行政上ノ事デアツテ、モ  
ニ印鑑ヲ使フテヤッタノデアル、サウシテ登  
記官吏ガヤツテ個人トシテ云々ト云フ御話ガ  
變造シテ行使シタノデモナイ、自分が自分  
ノ印鑑ヲ使フテヤッタノデアル、サウシテ登  
記官吏ガヤツテ個人トシテ云々ト云フ御話ガ  
アリマシタガ、五萬圓ノ問題デスカラ個人  
デハ責任ヲ負フカモ知レマセヌガ、ソレハ  
アリマシタガ、五萬圓ノ問題デスカラ個人  
デハ責任ヲ負フカモ知レマセヌガ、ソレハ  
負フテモ何モナラヌ、ソレカラ今行政上ノ責  
任ガナイヤウニ言ハレタノデアリマスガ、  
此福田ト云フ男ハ「レブラ」デアル、「レブ

ラ」ノ患者ハ使ヘナイヤウニナツテ居ルノデ  
アリマス、サウ云フ者ヲ使ツテヤツテ居ツテ  
モ、尙且ツ責任ガアリマセヌデ済ムノデア  
リマセウカ、拜承致シタイト思ヒマス  
○林政府委員 只今不正行爲ヲ致シマシタ  
登記所ノ官吏ガ癲患者デアツタ、斯ウ云フ者  
ハ官吏トシテ任用スベキデナカツタノニ、斯  
ウ云フ者ヲ任用シテ斯ノ如キ不正事件ヲ起  
シタノダト云フ御趣旨ノ御尋デアリマシタ  
ガ、其點ニ付キマシテハ只今事實ガ判明致  
シテ居リマセヌケレドモ、任用資格ノ上ニ  
サウ云フ特別ナ規定ノアルコトヲ、一寸探  
シマシタケレドモ見當ラナイノデアリマ  
ス、サウ云フ病人デアリマシタナラバ、事  
實ノ上ニ於テ任用シナイコトデアラウト思  
ヒマスガ、恐ラク任用當初ニ於キマシテハ  
健全ナル體格ノ持主デアツタラウト存ジマ  
ス、若シ承ルヤウナ事實ガアツタ致シマ  
スレバ、任用中、其後ニサウ云フ症狀ガ出タ  
ノデハナイカト想像致スノデアリマス、併  
シ是ハ私ノ想像デアリマスノデ、事實ハド  
ウデアツタカ分リマセヌガ、少クトモ只今迄  
調ベタ所ニ依リマスト、是等ノ者ヲ官吏ニ  
任用スペカラズト云フ特別ノ規定ハ承知致

スガ、内地デモ先ヅ第一ニ健康ヲ調べナケレバ任用セヌ筈デアル、「レプラ」ノ患者ヲ任用スベカラズト云フコトハナイノダカラ、任用シテモ宜イト云フヤウナ議論ノ建前ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、ソレハ林サンノ想像デアルト云フコトデアリマスケレドモ、私ガ問ウテ居ルノハ斯ウ云フ場合デモ責任ヲ負フカ負ハヌカ、「レプラ」ノ患者デアツタカドウカト云フコトハモウ濟ンダ話デアル、ソレハ明ニ分ツテ居ルノダカラ、今更有ツタカ無カツタカト云フコトハ必要デハナイ、此病氣ハ昨年此人ガ三十一デアツタノダカラ、任用當時ニ其症狀アツタ筈デアル、ソレカラモウツ是ハ政務總監カラ御答願ヒタイト思ヒマスガ、今ノヤウナコトデ登記所ノ出張所長ガ、登記事務トシテ登記書類ニ立派ニ判ヲ捺ス資格ノ有ル人ガ判ヲ捺シタ、サウシテ登記ノ謄本モ明ニソレハ交付シテ居ル、完全ナモノヲ割印ヲ取ツテ居ル、何ニ割印ヲ押シタカ、ソコハ分ヌガ、ソレガ若シ責任ヲ負ハヌト云フコトニナレバ是ハ常識上ノ御尋ダガ、一體ドウスレバ國民ハサウ云フコトヲ免レルノデアルカ、即チ登記所ノ所長ガ、登記済ノ判ヲ捺シテ登記ノ謄本ヲ出ス、ソコデソレハ個人ノ責任ダ、官吏ノ個人ノ責任デアツテ、一向

國ハ責任ヲ負ハナイト云フ風ニナルト、國民ハサウ云フヤウナコトノ被害ヲ免レヨウト思フト、ドウ云フ手續ヲ執ッテ、ドウ云フ風ニ手段方法ヲ踏メバ、其被害ヲ免レルノト思フトハ内地ニハアリマセヌ、朝鮮ガ初メテダト思フ、而モヤツタ債務者ト云フノハ、李寅鎔ト云フ京畿道ノ道會議員デ、登記所ノ所長ガ結託シテ内地ノ善良ナ國民ヲ偽瞞シテ取ツタコトニナル、併シ只今林サンノ言フヤウニ、個人トシテ責任ハアルガ、國トシテハ責任ガナイト云フノハ無茶ダト思フ、從來ノ法律ハ登記所ノ所長ガヤッタ事實コトヲヤルコトヲ認メテ居ナイカラト云フコトニナルト、登記所ノ所長ガヤッタ事實ノ有無ヲ何ニ依ツテ確メルカ、後日ノ爲ニ究メテ置キタイ、私ハ方法ガナイト思フ、吾々ガ登記ヲ受ケニ行ッテ、登記所長ガヤッタ行爲ニ對シテ、是ハ間違ツテ居ルト言ツテモ、其證明ガ付カナイト思フ、サウシテ斯ウ云フコトガアツテモ、其監督側ニ於テ行政上ノ處分ガアツタコトヲ聞イテ居リマセヌ、殖民地デアルカラ構ハヌト云フヤウナコトデハ棄置ケヌト思ヒマス、極ク簡單ニ林サンノヤウニ片付ケベキモノデハナイト思フ、今後サウ云フコトガ出來タ時ニ、三百

ヤ四百ノ金ナラバ個人ノ賠償モ出來マセウ  
ガ、數十萬圓ト云フヤウナ金ニナルト、個  
人デハ賠償ガ出來ヌコトニナル、身ヲ躲シ  
サヘスレバ自由自在ニサウ云フコトガ出來  
ル、却テ獎勵スルヤウナコトニナルト思ヒ  
マスガ……

○今井田政府委員 官吏トシテ任用スルニ  
足ルダケノ資格ノ無イ者ヲ、採用致シマシ  
タ場合ニ於キマシテハ、此任用上注意ヲ缺  
イタト云フ點ニ付テ、其局ニ當ル者ガ相當  
ノ責任ヲ負フベキハ勿論デアラウト思フノ  
デアリマス、而シテ其任用セラレタ官吏ガ  
故意又ハ過失ニ因リマシテ、他人ニ損害ヲ  
是ハ官吏トシマシテハ、所謂越權ノ行爲ダ  
ラウト思ヒマス、而シテ官吏ガ越權ノ行爲  
ヲ致シマシタ場合ニ於テハ、先程林局長力  
ラ御説明申上ゲマシタ通り、特別ナル規定  
ガ無イ限り國家ガ賠償スルト云フコトハ、  
現在ノ法制上ニ於キ途ガ無イヤウニ思フノ  
デアリマス、併ナガラ情カラ考ヘテ見マス  
レバ、之ニ依ツテ損害ヲ受ケタ者ハ非常ナ  
迷惑ヲスルノデアリマスカラ、之ヲ事後ニ  
リ特別ナ規定ガナイ限り出來ナイノデアリ

マスケレドモ、將來ニ於キマシテハ事前ニ  
之ヲ防止スペク、官吏ノ任用監督ニ付キマ  
シテ十分ナ注意ヲ加ヘナケレバナラヌト思  
ヒマス、國家ガ之ヲ賠償スル義務ガ假ニ無  
イトシマシテモ、是等ノ責任ハ監督ノ任ニ  
當ツテ居ル者ノ行政上ノ責任ニ付キマシテ  
ハ、相當之ヲ負フコトハ勿論ト思ヒマス、  
斯様ニ致シマシテ將來斯様ナ不祥事ノ再ビ  
起ラヌヤウニ、任用竝ニ監督其他ニ付テ十  
分ナ注意ヲ加ヘル考デ居リマス

○森田委員 是ハ餘リ押合ツテ モ押合フダ  
ケデアツテ、政府ノ方デハ責任ヲ免レヤウト  
スルシ、此方デハサウナツテハ大變ダト云  
フ考ヲ以テ、何レ損害賠償其他ニ付テ民事  
デ争フコトニナルデアリマセウ、是ハ已ム  
ヲ得ヌト思ヒマスガ、今政務總監ノ仰シ  
ヤツタ中ニ、監督ヲ嚴重ニスルト言ハレマシ  
タガ、ソレハ難カシクハナイカト思フ、登  
記所ニハ登記所長以上ノ人ハ居ラヌノデ  
ス、ソレガ一番上デス、是ハ登記法ノ改正  
トカ何トカヤツテ、餘程國家ガ相當ノ責任ヲ  
負フコトニシテ置カヌト、今後又再び起ル、  
監督スルト言ツテモ仕様ガ無イ、一番最高ノ  
所長ノ地位ヲ有ツテ居ル人ガヤルノダカラ  
シテ、過失デモ何デモナイ、個人デ此李寅鎔

其上二人ガアルナルナラバ監督ガ出来ル、ソレハ京城ニ行ケバ居リマス、其處ハ出張所デスカラ京城ノ本廳ノ方へ行ケバ居ルガ、其イ、ダカラ是ハ國家賠償トカ何トカ云フ方法ニシテ置カヌトイカヌ、下ノ方ノ雇ガヤタトカ、小使ガヤッタトカ、書記ガヤッタトカ云フナラバ、其上ノ人ガ嚴重ナル監督ヲ加ヘレバ、監督ハ出來マスケレドモ、是ハ監督スル人ガヤッタノダカラ、登記所デハソレ以上ノ人ハ無イ、役所ノヤウニ上司ガ順次上ニ居ルナラバソレデ監督モ出來ルケレドモ、是ハ一番上ノ人ガヤッタノダカラ、是レ以上監督ノ仕様ハ無イ、此點ハ今後モアルコトダカラ、今ノヤウニ監督シマスト言ハレルダケニセズニ、相當ニ私ハ御研究ヲ願ヒタイ、此問題ハソレ以上申シマセヌ、事件トシテ民事事件ナリ、何ナリデ争フデセウ、而モ被害者ハ斯ウ言ツデ居ル、朝鮮デアルカラ、是ハ責任ノアル所デヤラナケレバナラヌ、内地デヤラナケレバナラヌトスル所デハナイ、總督ノ自由ニ判決スル所言ツデ居ル、ソレハ私モ同感デアリマス、判決ノ仕様ニ依ツテハ失敗シタコトヲ肯定スルコトニナルカラ、ソレハイケナイト思フ

鬼ニ角監督ノ問題ハ政務總監ニ御研究ヲ願ヒタイト思フ、登記所ノ所長ノ監督ハ、本廳へ行カナケレバイケナイノデスカラ、此點ハ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハソレデ質問ヲ終リマス

○松山委員長 ソレデハ外ニ質問者ハ無イヤウデアリマスカラ、私カラ一寸鐵道局長ニ御同致シタイノデアリマス、今度八百六十萬圓ヲ使ツテ朝鮮ノ鐵道ヲ改良スル、即チ輸送力ヲ増スト云ノノデアリマスガ、内地ニ於テハ狹軌デアリマス、廣軌ニ較ベテ輸送力ガ弱イ譯デアリマシテ、朝鮮ダケ輸送力ト云モノハ、ドウシテモ内地ト朝鮮ト満洲ヲ連絡シナケレバナラヌノデアリマスカラ、朝鮮ダケ輸送力ヲ増シタ所ガ、ソレデ果シテ效果ヲ現スモノダラウカト云ヒ意味ニ於キマシテ、例ヘバ其一つハ「レール」ノ封度數ト云フヤウナモノモ一つノ標準ニナルノデアリマスガ、其輸送力ノ關係ヲ御説明願ヒタイト思フノデアリマス

○吉田朝鮮鐵道局長 只今ノ御質問ニ付テ御答致シマス、今回計畫致シマシタノハ主トシテ京釜京義線デアリマスガ、ソレノ改良ハ輸送力ノ増加竝ニ速度ノ向上ト云フコトニナツテ居リマス、輸送關係ニ付キマシテ

ハ只今御質問ノ通りニ内地、朝鮮、満洲ヲ  
通ジテノ問題ニナリマス、又輸送力以外ノ  
速力ノ問題ニ付テモ、同様ニ直通旅客ヲ如  
何ニシテ輸送スルカト云フ問題ニ歸著スル  
ノデアリマス、之ヲ旅客ノ運輸ノ方面カラ  
見マスルト、内地ノ鐵道ニ於キマシテハ既  
ニ東海道線及山陽線ノ改良工事ヲ完成致シ  
マシタ、山陽線ニ於キマシテハ一部分未完  
成ノ所モアルヤウニ聞イテ居リマスガ、列  
車ノ速力ハ非常ニ從來ニ比シテ速クナツタ、  
ソレカラ滿洲ニ於キマシテモ既ニ御承知ト  
存ジマスルガ、滿鐵本線即チ大連新京間ノ  
線路ノ改良ガ行ハレマシテ、此間ノ列車ノ  
速力ト云フモノモ、非常ニ早クナツテ居ルノ  
デアリマス、獨リ朝鮮線ニ於キマシテハ、  
前會モ一寸申上ゲマシタヤウニ、元出來初  
メノ目的ガ主トシテ軍用ト云フヤウナコト  
デアリマシタ爲ニ、洵ニ簡單ナ設備ヲ以テ  
始ッタノデアリマス、其後主トシテ京釜線ノ  
改良ニ力ヲ入レマシテ、或ハ線路ノ變更、  
或ハ隧道ノ變更ト云フヤウナコトヲヤリマ  
シテ、可ナリ巨額ノ金ヲ之ニ注込ンダノデ  
アリマスガ、尙ホ足リマセヌノデ、大正十  
五年ニ十二年計畫ト云フモノヲ立テマシタ  
時ニ、矢張改良費トシテ京釜線、京義線改  
良費ニ千五百萬圓位ノ金ヲ要求シテ改良ニ

現ニ從事シテ居ルノデアリマスガ、最近ニ於キマシテ直通列車ト云フモノ、速力ノ向上ト云フコトモ、非常ニ問題ニナリマシテ、滿洲鐵道竝ニ鐵道省線ニ於テハ、著々其準備ヲ進メテ居リマスガ、大陸連絡鐵道ノ一幹線トシマシテ、朝鮮鐵道ニ於テモ、此速度ノ向上ト云フコトニハ、特別ノ注意ヲ拂ハナケレバナラヌ狀態ニナックタノデアリマス、隨ヒマシテ十二年計畫ニ於テ計畫シマシタ所ノ改良ダケデハ、足ラヌト云フコトガ分リマシタノデ、一昨年以來是等ノ改良ニ付テノ豫算ヲ要求シ、八年度ニ於テ百萬圓、九年度ニ於テ又百萬圓ヲ之ニ注イダノデアリマスガ、是ハ元々六年間ノ計畫ニ依ッテ、一通リノ改良ヲ完成シヨウト云フ考デアリマシタ爲ニ、今年ハ更ニ今後四箇年ノ繼續工事トシテ御協賛ヲ願ツタヤウナ次第デアリマス、此計畫ガ完成致シマスルト云フト、其速力モ相當ニ向上シマシテ、今日ニ於キマシテモ内地ニ富士ト申ス列車ガアリマスガ、略ボアノ富士列車位ノ平均速力ガ出デ居ルノデアリマス、ソレカラシテ貨物方面ニ付キマシテ、是ハ内地ト満洲トノ連絡貨物ト云フモノハ、今ノ所餘リ多量ニアリマセヌ、主トシテ是ハ海運關係ニ依ッテ居ルモノガ多イノデアリマス、先年來朝鮮通過

ノ貨物ト云フモノヲ增加スルト云フコトニ付キマシテハ、モウ二十年前カラ色々計畫サレタコトガアルノデアリマスガ、ドウンド・アッブ」スルコトニ依ッテ、矢張直通ノ旅テモ海運賃ガ安い關係上、海運ニ頼ルト云品ガ、鐵路ニ依ッテ運送サレルヤウナ狀態デアリマス、併シ是モ満洲事變以來相當增加致シマシテ、今日ニ於テハ、昭和六年ニ比較シマスト云フト、約倍以上ニナック居ルノデアリマス、併シ總數量ト云フモノハ、僅ニ七千噸位ニ過ギナイノデアリマス、サウ云フ付運送ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ輸送力關係デアリマスカラシテ、内地満洲ノ貨物運送ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ輸送力ノ問題ト直接ノ關係ハナイノデアリマスガ、朝鮮内部ニ於ケル最近ニ於ケル貨物ノ運送狀況カラ見マスト、朝鮮内部ニ於テモ、既ニ輸送力ノ不足ヲ告ゲテ居ル部分ガ相當アリマス、又朝鮮ト満洲トノ間ノ荷物ノ運送ニ付キマシテハ、是ハ矢張満洲事變以來著シク増加シマシタ爲ニ、是ニモ運送數量トシテハ頗ル増加致シタノデアリマス——前ノ旅客運送ニ戻リマシテ、速力ノ點ニ付キマシテモ、現在ニ於テモ安奉線ヨリハ朝鮮ノ本線ノ方ガ速力ハ出デ居リマスケレドモ、是ハ安奉線ノ距離ハ三百糠足ラズデアリマス、ソレカラ尙ホ過般ノ會議ノ時ニ御質問ニナリマシタ京圖線ノ速力ノ問題デアリマ

トシテハ、極ク少部分ヲ占メテ居ルダケデアリマスカラシテ、長イ朝鮮線ヲ「スピード・アップ」スルコトニ依ッテ、矢張直通ノ旅客ニ對スル重要ナ「サービス」ヲヤラナケレバナラヌト云フヤウナ關係デアリマス、尤モ安奉線ノ改良ト云フコトニ付キマシテモ、是ハ公式デハアリマセヌガ、非公式ニハ滿鐵當局者ト寄々話ヲシテ居リマス、出來ルダケ彼處モ早ク改良シテ、コチラト順應シテヤツテ貴ヒタイト云フコトノ要求ハシテ居ルノデアリマス、連絡輸送ニ付キマシテハ、關釜連絡船ノ問題ガモウ一ツ残り、テ居ルノデアリマス、是ハ御承知ノ通り、只今デハ三千五百噸級ノ船ヲ以テ連絡致シテ居リマス、今日彼處ノ海峽ヲ渡リマス、旅客ノ數ハ、上下合セテ約五十五六萬人位一年間ニアリマス、ソレモ時節ニ依ッテハト存ジテ居リマス、併セテ御答致シテ置キマス

○松山委員長 是デ大體質問ガ終ツタヤウデアリマスガ、質問ヲ終局スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○森田委員長 ソレデハ質問ハ之ヲ以テ終局致シマス、是ヨリ討論ニ移リマス——森田福市君

○森田委員 朝鮮事業公債法改正案ニ付キマシテハ、政友會ヲ代表シテ賛成ノ意ヲ表シマス、贊成ノ意ヲ表スルニ際シテ一言致シテ置キタイノハ、先般來屢、此處デ質疑應答ノアッタ通り、朝鮮ノ労働者ガ内地ヘ非常ニ澤山參ルノデアリマスガ、之ヲ内地ニモ未ダ相當ノ失業者ガアルノデアリマスカラ、成ベク内地ニ朝鮮ノ労働者ヲ多く寄越

ノ如キモノヲ相當年限ヲ繰上ゲテ、サウシテ労働者ノ收容力ヲ増スヤウナ方法ヲ御執リニナリタイト云フコト、茲ニ繰上ラシ、其上ニ其年度割額ノ使用ニ際シテハ、出來得ル限り建設ノ哩數ヲ延バス、即チ其施工ノ手段方法ニ依ツテ注意ヲ加ヘラレテ、成ルベク労働者ヲ多ク使フヤウナ方法ヲ設ケル、即チソレニハ屢々申上ダシタヤウニ、請負ノ方法ヲ直營ニスルトカ、或ハ其他ノ方法ニ依ツテ、同ジ金額デモ労働者ヲ多ク使フヤウニ、哩數ヲ延長シテ行カレルヤウニト云フコトヲ希望ヲ致シテ置キマス、即チ以上ノ希望ヲ以テ、原案ニ贊成ノ意ヲ表シテ置キマス

タノデアリマスガ、アノ朝鮮民族が微動ダ  
大陸政策ニ大ナル援助ヲ與ヘタモノデアリ  
當ラレテ居リマシタ總テノ方々ノ功績ト、  
朝鮮同胞ノ功績トハ、第一線ニ立ッテ勵カレ  
タ軍人諸君ニ劣ラナイ所ノ、大ナル功績デ  
アルト考ヘルノデアリマス、此論功行賞、  
或ハ建國記念章ノ授與ニ當リマシテハ、成  
ルベク朝鮮同胞モ多ク其光榮ニ均霑スルヤ  
ウニ、御配慮ヲ願ヒタイト存ズルノデアリ  
マス、モウ一點ハ此朝鮮合邦ノ原因ハ、朝  
鮮民族ノ熱烈ナル希望ヲ、朝鮮皇帝ガ之ヲ  
容レマシテ、サウシテ我國ニ請願ヲ致シテ  
參ッタノデ 明治大帝ハ之ヲ御嘉納アラセ  
ラレタノデアリマスガ、當時 明治大帝ノ  
大御心ヲ拜シ奉ルノニ、朝鮮民族モ一視同仁  
ニ、本當ノ 陛下ノ赤子トシテ、幸福ノ生  
活ヲ將來送ラセテヤリタイト云フ大御心デ  
アッタト信ズルノデアリマスガ、爾來朝鮮合  
邦以來今日マデ、色々其政治モ改善セラレ  
テ參リマシタ、殊ニ國土ノ方面ニ於テハ、  
或ハ道路、或ハ港灣、或ハ鐵道ト云フヤウ  
ナ形ノ上ニ於テハ非、常ナ改善ヲセラレ、又  
大體朝鮮ノ富力モ増進シテ參ッタノデアリ  
マスガ、朝鮮民族個々ノ生活ニ至リマシテ

ハ、未ダ明治大帝ノ大御心ニ副ヒ奉ラザ  
ルモノガ甚ダ多イト感ズルノデアリマスカ  
ラ、モウ既ニ此間兒玉拓相ガ御説明ニナラ  
レマシタヤウニ、第一期、第二期ガ過ギテ  
將ニ第三期ノ統治計畫ニ入ラントシテ居ル  
ノデアリマスカラ、此際ニ於キマシテハ、  
將來此國土ノ改善、或ハ港灣、道路、サウ言  
夕外見ノモノヨリモ、朝鮮人個々ノ生活ノ  
改善ヲ、主トシテ御配慮下サルヤウニ御願  
シタイト存ズルノデアリマシテ、此希望ヲ  
述べマシテ本案ニ賛成ヲスル者デアリマス  
○松山委員長 是デ討論ノ通告者ハ終リマセ  
シタガ、討論ヲ終局スルニ御異議アリマセ  
ヌカ

目下工事中ノ國有鐵道ノ慶全北部線ト連絡致シマスシ、又東ノ方ニ向ヒマシテハ、晉州方面ニ向フ國有鐵道ノ豫定線ト連ツテ居ルコト、ナリマスルノデ、本鐵道ハ南朝鮮ニ於キマスル運輸系絡上カラ申シマシテモ、建設工事ノ上カラ申シマシテモ、是非共之ヲ國有ニシテ統制スルノ必要ガアルノデアリマス、又之ヲ政府ノ財政上カラ見マスルト云フト、本鐵道ハ御承知ノヤウニ、朝鮮私設鐵道補助法ニ依リマシテ、毎年八分ノ利子ヲ補給シテ居ルノデアリマス、然ルニ今回之ヲ買收致シマシテ、之ニ交付致シマスル公債ノ利子額ト、補助金額トノ間ニ於キマシテハ、年ニ約三十萬圓ノ開キガル方ガ、年額三十萬圓ダケ政府ノ利益ニナルト云フ計算ニナルノデアリマス、即チ鐵道ノ系統ヲ正ス上カラ申シマシテモ、亦政府ノ國庫ノ負擔ノ上カラ申シマシテモ、今回之ヲ國有ニ致シマスル方ガ適當ナノデアリマスルノデ、而シテ朝鮮ノ私設鐵道ノ特有性ニ顧ミマシテ、買收價格ハ建設費ヲ時價ニ依リマシテ、國債證券ノ額面ニ換算シタル金額ヲ以テ、買收スルコトニ致シマスターガ、之ヲ四分利公債デ換算ヲ致シマスルト、四分利公債デ約千百二十五萬圓ニ相成

ル見込デアリマス、大體本案提出ノ理由ヲ御説明申上ゲマシタガ、尙ホ御質問ニ應ジマシテ、ソレ／＼御答辯ヲ申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス

○松山委員長 只今拓務大臣ヨリ、次ノ法律案ノ御説明ヲ願ツタノデアリマスルガ、本日ハ質問ニ入ラナイデ是デ散會致シタイト思ヒマス、是デ散會ヲ致シマス

午後二時三十二分散會